

映画監督キアロスタミは内戦の地で光を見た。

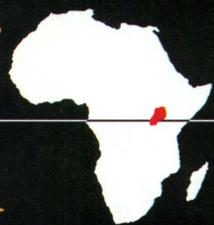
——愛と音楽と孤児たちの生きるちから。

アッバス・キアロスタミ最新作



ABCアフリカ

ABC AFRICA



2001年カンヌ国際映画祭特別招待作品

2001年/イラン映画/カラー/1時間24分

配給=ユーロスペース

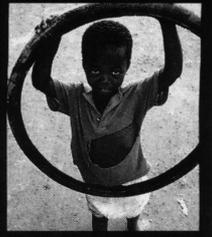
# ABCアフリカ ABC AFRICA

監督・編集＝アッバス・キアロスタミ 撮影＝セイフォラ・サマディアン

2001年カンヌ国際映画祭特別招待作品

2001年/イラン映画/カラー/1時間24分/

35mm/ヴィスタサイズ(1:1.66)/ドルビーSR 配給＝ユーロスペース



ウガンダ——200万人がエイズで死亡、さらに200万人が感染。  
いのちの終息地から聞こえてくる、生命の躍動感

## そしてアフリカへ…

2000年初夏、アフリカ・ウガンダ。映画監督アッバス・キアロスタミは、彼のアシスタントを連れ立って首都カンパラの地に降り立った。国連の国際農業開発基金(IFAD)の依頼により、「ウガンダ孤児救済のための女性運動」(UWESO)の活動と、160万ものエイズ孤児や内戦で親を亡くした子供たちの実態をカメラに収めるためだった。ふたりは10日間の間に、孤児や母子感染した子供たちや、そんな悲劇の中でも力強く生きる子供たちの顔をカメラに収める。くたたくのない笑いと空虚な悲しみ・苦しみ、溢れる音と静謐さ、そして光と闇。コントラストの強い、目も眩むような土地で映画監督は何を見たのか?『友だちのうちはどこ?』で世界を驚かせ、『桜桃の味』『風が吹くまま』で人間の‘生と死’を正面から見据えた監督キアロスタミ。本作『ABCアフリカ』では人間の尊厳をつぶさに見つめ、‘生’の持つ輝きと力強さを見事スクリーンに溢れさせている。

## ‘生と死’。 いのちのさざめきと。

「ウガンダ孤児救済のための女性運動」(UWESO)の活動に対する世界的関心を高めるという役割を背負った『ABCアフリカ』は、カンヌのバルムドール監督・キアロスタミのドキュメンタリーのスタイルに、驚くほどまっすぐに立ち返っている。この作品は、ウガンダが近年体験した苦しく辛い歴史的側面や、この国に対する世界的なイメージについてはほとんど触れることなく、どんな逆境をも跳ね返す、人間の希望に満ちた精神力を讃えたドキュメンタリーである。(文略)どんな状況でも人の魂を讃えることができるのは、キアロスタミ作品の優れた点であり、その姿勢が『ABCアフリカ』を、彼のどんなにすばらしい他のフィクション作品よりもキアロスタミらしい作品にしている。ここでもまた映像は全てを語り、テーマはただただ‘生と死’なのだ。

——アラン・ハンター/スクリーン・インターナショナル(2001年5月13日号)より

## アッバス・キアロスタミ 監督略歴

1940年テヘラン生まれ。『友だちのうちはどこ?』(87)『そして人生はつづく』(92)は日本で初めて劇場公開されたイラン映画だったが、キアロスタミの存在、ひいてはイラン映画の質の高さが日本でも広く認知された記念すべき作品となった。続いて『クローズ・アップ』(90)、『ジグザグ道3部作』の最後を飾る『オリーブの林をめぐって』(94)(カンヌ国際映画祭正式出品作品)を発表。

長篇としては3年ぶりの待望の新作となった『桜桃の味』(97)は97年カンヌ国際映画祭でバルムドールを受賞。それに続く『風が吹くまま』(99)は99年のヴェネツィア国際映画祭で審査員グランプリを受賞し、『ABCアフリカ』は2001年カンヌ国際映画祭に特別招待され、熱狂のうちに迎え入れられた。

97年12月13日にはユネスコからフェリーニ・メダルを贈られた。

## 真実のことば、ことばのちから

「彼女はバナデッタ、72歳。彼女の子供11人は全員死にました。原因はエイズ。いま35人の子を育てています。多くは親戚の子です。学校へ行く子、留守番をする子…。バナナ栽培で、この子たちを養っています。この村はウガンダ国内のエイズ発生地。驚くべき数字がここにあります。ウガンダ2200万人の人口のうち、すでに200万人がエイズで死亡。200万人がHIVに感染、160万もの子が片親や両親をエイズなどで失っているのです」

「彼女たちは訓練後働き始めると、別人に

なります。行動も態度も変わります。自信と責任感に目覚めるんです。だからどうか私たちに支援を。力をください」

「ウガンダの状況を世界に訴えて支援を得たいのです。子供のいる家族を救わないと丸々世代を失ってしまいます。貧困、飢餓、病い…。やがて国そのものがだめになります。必要なのはお金だけではありません。別の支援も必要です。心の支援——つまり平和と調和です」

「あの扉や窓のない家は?」「何年もの間、破壊と戦争が続いた結果、残されたものです」「戦争?」「内戦ですよ。この男性は英

語教師です。この家には6家族が住んでいて、全員教師です。彼らはそれぞれが給料の30パーセントを政府に支払ってこの家を借り、別の家族と一緒に暮らしています。二人の子は彼の実子ですが、もう一人は両親が亡くなったため養子にしたそうです」「エイズで亡くなった?」「エイズかマラリアかはわかりません。それは尋ねませんでした。ゆうべの蚊の大群をご覧に?——もう一組の話を…。彼は妻を、彼女は夫を亡くしました。死因はエイズ。それぞれに子供が一人ずついます。二人は結婚することになりました。そして偶然にも、今夜が二人の結婚式なのです」

イランからアフリカ・ウガンダへ!キアロスタミのまなざしが見つめたものは?

# 3月9日(土)より(3/15<sup>金</sup>7<sup>テ</sup>)待望のロードショー!!

●特別前売ご鑑賞券 一般¥1400 絶賛発売中!(当日一般¥1800、大学生¥1500の処)

●劇場窓口、阪急・阪神・HEP FIVEの各PG、チケットぴあにてお買い求めください

**3/16以降モーニングショーにて続映、詳しくは劇場にお問い合わせください。**

●本編開映後のご入場はご遠慮ください

梅田ロフトB1 06(6359)1080

テアトル 梅田

<http://www.cinemabox.com/>

1:15 3:00 4:45 6:30